

	大分類	小分類	意見の整理		
区民会議委員アンケート・区民会議ミーティング・第2回全体会等で出された意見	地域の魅力向上、活性	(1)地域の魅力資源の有効活用	◆地域の魅力資源の活用	・多摩区の魅力づくりのために、多摩川を活かす。	
			◆多摩区の魅力の掘り起しとPR	・区画整理のまちづくりを考えるにあたって、将来像を表すキャッチフレーズのようなものがあれば良い。 ・区画整理について、地権者と話がしたい。	
			◆持続可能なまちづくり	・高齢者が気持ちよく健康で生活できる環境づくり。参加したくなるような企画が必要だと思う。	
		(2)地域活性化(改善)	◆若い世代の人たちに住んでもらうためには	・若い人に住んでももらわないと、地域の活性化、コミュニティづくりは難しいと思う。若い人に住んでもらうための取組が必要。	
			(1)交流のための場づくり	◆空き家を活用したコミュニティの拠点づくり	・空き家が増えると地域の防災、防犯に関わる。空き家を地域コミュニティの場にするなど、活用を考えたい。
				◆互いを尊重し合える地域コミュニティづくり	・ノビノビと子育てしやすい多摩区を考えたい。
	地域コミュニティ	(2)行政・地域活動への市民参加の促進	◆参加したくなる地域づくり	・地域について関心を持ってもらえるような仕組み。	
			◆町内会自治会活動への参加の促進	・町内会自治会へ参加する人を増やす	
		安全・安心	(1)歩行者等の安全確保・交通安全	◆交通マナーの普及啓発方法の検討	・交通安全・交通マナーの普及啓発が大事だと思う。
	(2)防犯・防災			◆コミュニティによる防災、防犯	・地域コミュニティによる防災、防犯の仕組みづくり。
			◆避難ルートのチェック	・通学路等が災害時に安全かどうかを検証する。	

第1回・第2回部会で出された意見等

<第1回部会>

・若い人が住まないといまちは活性化しない。目的・ビジョンとして「若い人のまちにならないといけない」

・区民会議の提言は、漠然としたものではないかと、具体的で実現可能なものにするべきである。

・若い人に住んでもらえるような多摩区を目指すためには、区の魅力は向上することや顔の見えるコミュニティづくりが重要になると思う。

<第2回部会>

・地域の物理的な条件(交通の利便性や地価等)などどうしようもない条件と、これから改善できる条件があり、その中でどのように魅力をつくっていくかが課題だと思う。

・多摩区には、生田緑地や多摩川、二ヶ領用水、昔からある文化芸能等、たくさんの魅力がある。これらを掘り起こしてPRし、区民に愛着を持ってもらう必要がある。

・若い世代、特に子育て世代に住んでもらうためには、子どもが自由に遊べる公園の活性化が非常に大切だと思う。このためにも地域コミュニティの醸成が必要である。

・これから高齢者が増えるので、交通事故などに合わないよう、交通モラル・マナーの向上が必要である。

・土地区画事業で新設される3か所の公園によって地域の魅力をUPする方策を考える。また、この検討のプロセスの中でまちづくりのコンセンサスを形成する。

ビジョン
目的
目標

若い人に住んでももらえるまち

審議テーマになりそうなもの(第2回部会)

ビジョン達成のため のあってほしい姿	考えられる 具体的な方策・解決策
◆魅力あふれるまちづくり	多摩川の活用(例:登戸の渡しを再現する)
	生田緑地のPR(例:川崎シティWi-Fiを利用した民家園のCM制作)
◆愛着をもってこのまちに住む	まちの過去、現在、将来を示すパネルを展示する
	市政だより区版等に、まちの歴史成り立ちを連載する
◆良質なコミュニティの形成・ノビノビと子育てができるまち	(伝統文化等についての)高度な技術の伝承ではなく気軽に参加できて楽しめる集まりを開催する
	近隣の住民同士の良好な関係づくり
◆安全安心なまちづくり	子どもが人との関わり合いを学ぶ場づくり
	交通モラル・マナーの向上策の検討
◆居住性の高いまち(登戸区画整理事業エリアの活用)	地域にとって魅力的な公園とするために、町会、居住者、行政、有識者等で公園検討委員会を組織し検討する。
	まちの景観を整えるための改善案の検討、提案